

ニオイや菌に悩まされない空間を目指して

美ラクル通信

特別号

「美ラクル通信」は、美ラクルミストをはじめとする弊社のサービスを通じて、ご縁をいただいた皆様に役立つ情報をお届けする不定期の情報ペーパーです。

2020年2月26日発行

発行/株式会社グレビス ライフサポートグループ
TEL:03-5825-5080 info@grevice.co.jp

感染拡大! 新型コロナウイルス エアロゾル感染への対策が急務

新型コロナウイルス「COVID-19」の感染拡大が止まりません。日本国内でも複数の死者が発生するなど、その脅威は新たな段階に入ってきました。最新情報では、飛沫感染や接触感染に加え、「エアロゾル感染」の可能性が指摘されています。感染を防ぐ有効な対策はあるのでしょうか?

感染経路や治療法は模索段階 話題の「エアロゾル感染」とは?

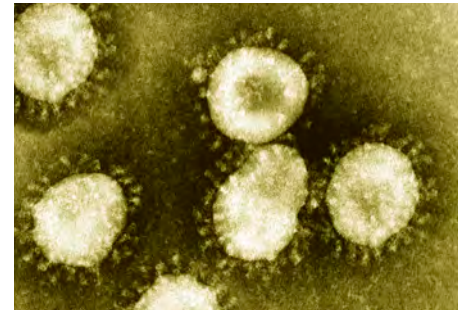
「コロナウイルス」は、人に感染すると発熱や咳などの呼吸器疾患を起こすウイルスで、いわゆる「風邪」の病原体として知られています。ウイルスの外側に球状の突起があり、これが王冠(ギリシャ語でコロナ)の形に似ていることが名前の由来です。これまでに、ヒトに蔓延する4種類のコロナウイルスと動物から感染するSARS、MERSを加えた6種類が確認されていますが、今回のウイルスは新たに見つかった新型ということです。この新型コロナウイルスを、WHO(世界保健機関)は「COVID-19」と命名しました。

こうした新型の感染症にはワクチンなど

の治療法が確立されておらず、今回は感染源や感染経路もまだ明らかになっていないため、人々の間に不安が広がっています。集団感染の発生したクルーズ船や屋形船といった閉鎖空間での感染イメージからも、感染者に近い場所での感染リスクが高いことは間違いありません。こうした中、発生源となった中国の保健当局から「エアロゾル感染」の可能性を否定できないとする見解が発表され、新たな衝撃が走りました。

飛沫・接触感染を防ぐとともに 空間レベルの感染対策も必須

エアロゾルとは、気体中に浮遊する微小な粒子を指し、ウイルスが大気中に漂っている



状態を意味します。ニュアンス的には空気感染に近いと言えるかもしれません。

新型コロナウイルスの感染経路については当初、飛沫感染と接触感染が中心であるとされていました。「濃厚接触」という言葉が使われているように、接触感染のリスクを減らすことが最優先であることは確かです。ウイルスは目に見えないので知らないうちに触っているケースはいくらでも考えられ、手に触れたウイルスを体内に取り込まないことが重要になります。何よりも手洗いが推奨されるのはそのためであり、マスクも、いわゆる咳エチケットに加えて、鼻や口を無意識に触りにくいという意味で役に立ちます。

一方、エアロゾル感染については接触感染への対策だけでは不十分です。密閉された環境に長時間滞在するケースでは、ウイルスのいる空間そのものをクリーンにしなければ、感染リスクはなくなるからです。

美ラクルシリーズの「美ラクルミスト」は抗ウイルス効果が実証された有効成分を気化して、設置した空間に噴霧するタイプの抗菌製品です。大気中に漂う菌やウイルスを不活化して、中にいる人の感染リスクを軽減します。さらに空中に噴霧された抗菌消臭ミストを浴びることによって、その場にいる人の衣服にも抗菌・消臭バリアを形成します。



MiRaKuRu Mist

抗菌・除菌・消臭 **美ラクルミスト**

空間レベルでの感染予防に
設置するだけで抗菌・消臭! 有効成分を気化して噴霧

美ラクルミストは有効成分を専用の気化式噴霧器で散布する、設置タイプの抗菌・消臭システム。人が集まる場所に設置するだけで、室内の菌やウイルスを不活化し、イヤな臭いも消してくれます。空中に噴霧された抗菌消臭ミストは、その場にいる人の衣服にもバリアをつくり、感染リスクから守ってくれます。

